

2015年度（平成28年3月期） 不二サッシグループ 決算説明資料

2016年5月12日

不二サッシ株式会社

I. 2015年度(平成28年3月期)決算の概要

2015年度・2016年度 における事業環境

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 予想
非木造建築物着工床面積(千㎡) 前年比(伸び率)	86,458 8.2%	78,137 -9.6%	75,465 -3.4%	76,500 1.4%
新設住宅着工戸数(戸) 前年比(伸び率)	987,254 10.6%	880,470 -10.8%	920,537 4.6%	937,000 1.8%

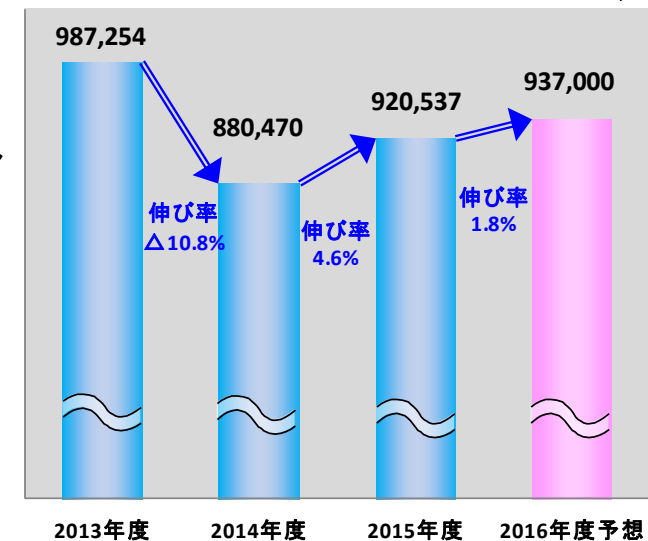
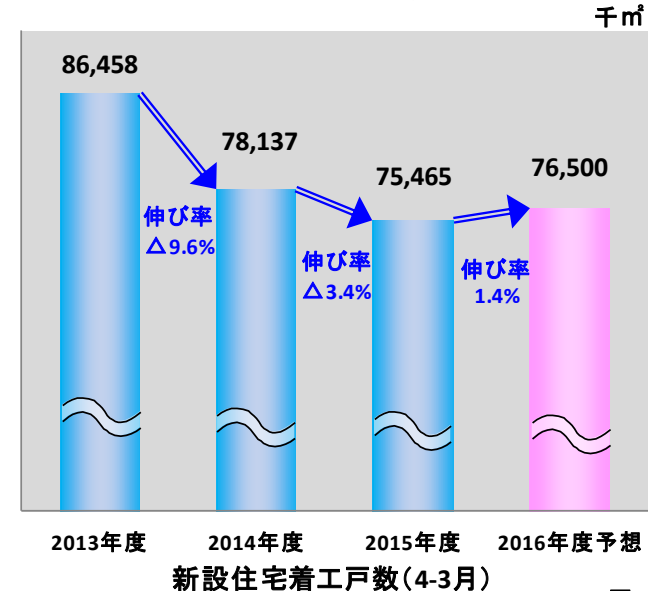
- 建設投資の先行指標である非木造建築物着工床面積は、2015年度は工場が伸びたものの、店舗・学校・病院等が減少となり、全体としても減少となりました。

2016年度は景気の緩やかな回復基調と東京オリンピック・パラリンピック等の潜在需要が見込まれるものの、2年連続で建築投資の前年割れが想定されることや技能労働者不足、労務・資材費の上昇などによる下振れ要因もあることを考慮し、前年度対比で微増と予想しています。

- 2015年度の住宅着工戸数は、2014年度に影響していた駆け込みの反動減がなくなったことと、省エネ住宅エコポイント等の市場活性化策が下支えとなり微増となりました。

2016年度は、再度増税前の影響を加味し、2015年度同様微増と予想しています。

非木造建築物着工床面積(4-3月)



2015年度決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2014年度		2015年度						
	実績		実績		前年同期比		計画数字	計画比	
		売上比		売上比	増減額	%		増減額	%
売上高	99,020		97,704		△1,316	98.7	102,000	△4,296	95.8
売上原価	84,084	84.9	82,588	84.5	△1,496	98.2	86,500	△3,912	95.5
売上総利益	14,936	15.1	15,116	15.5	180	101.2	15,500	△384	97.5
販管費	11,918	12.0	12,512	12.8	594	105.0	12,600	△88	99.3
営業利益	3,018	3.0	2,603	2.7	△414	86.3	2,900	△297	89.8
経常利益	2,643	2.7	2,233	2.3	△410	84.5	2,600	△367	85.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,292	1.3	1,276	1.3	△16	98.7	1,450	△174	88.0

- 2015年度の当社グループの業績は、主力とする国内建材事業が堅調に推移する一方、形材外販事業では市況の変化や競争激化に加え不二サッシマレーシア社の事業縮小を行うなど厳しい状況となりました。
- その結果、売上高は前年同期比98.7%、利益面では営業利益は前年同期比86.3%、経常利益は前年同期比84.5%、当期純利益は前年同期比1千6百万円減と、減収減益となりました。

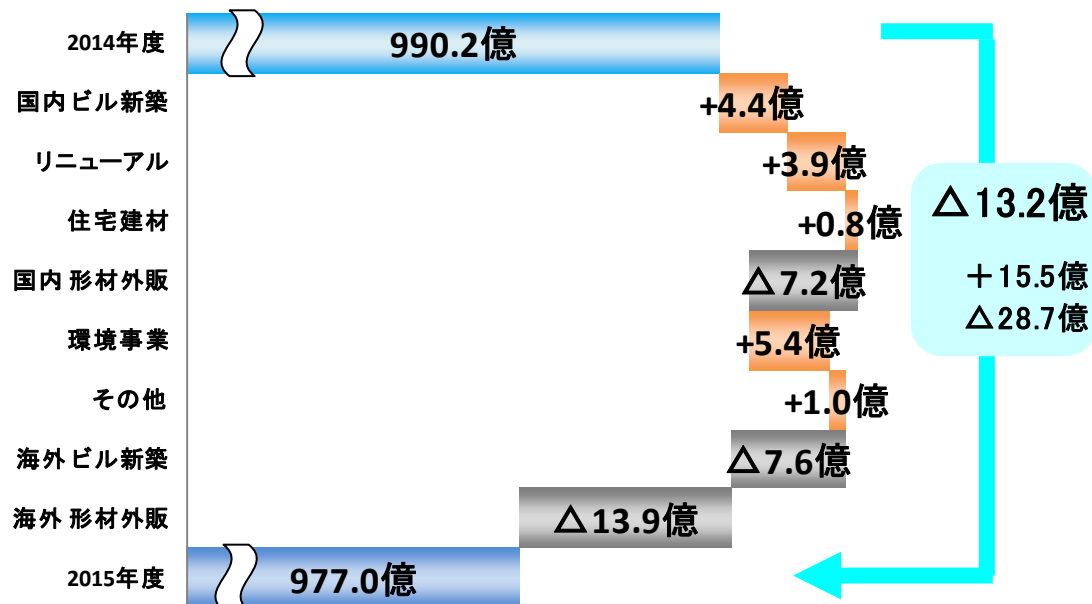
セグメント別 売上高

【連結】

(百万円)

	売上高		
	2014年度	2015年度	
	実績	実績	対前年比
建 材 事 業	69,650	69,800	100.2% 149
形材外販事業	23,614	21,505	91.1% △ 2,108
環 境 事 業	4,038	4,579	113.4% 541
そ の 他 事 業	1,718	1,818	105.9% 100
(消去又は全社)	-	-	-
合 計	99,020	97,704	98.7% △ 1,316

■ 売上高増減分析(前年比)



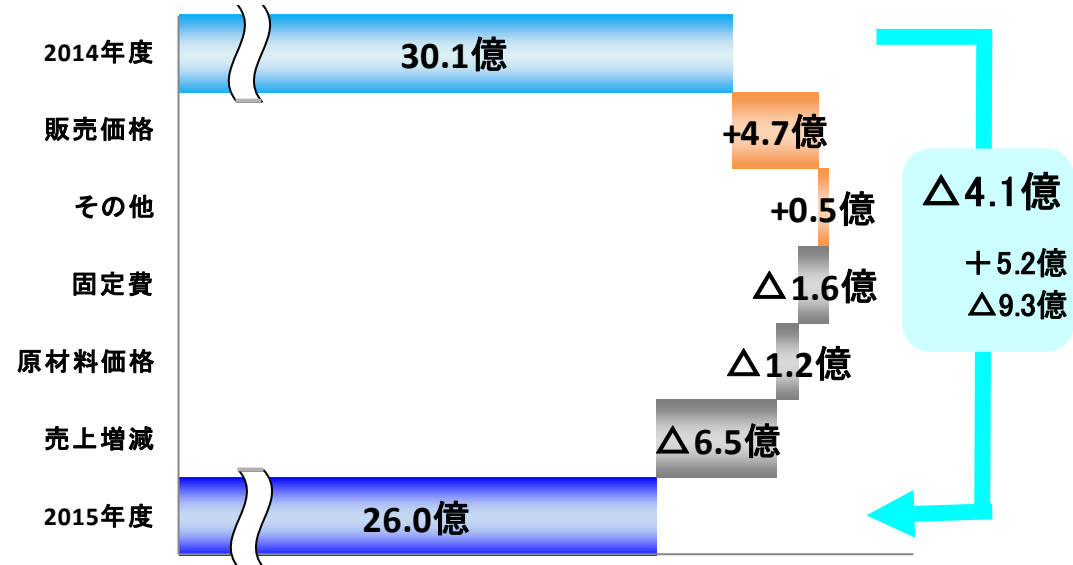
- 主力の建材事業の売上高は、不二サッシマレーシア社の事業縮小の影響により海外ビル新築事業の売上は減少しましたが、国内ビル新築事業・リニューアル事業を中心に建築需要を確実に取り込み、国内・海外合計では前年同期比100.2%、1億4千9百万円の増収となりました。
- 形材外販事業の売上高は、国内市場の需要減少および競争激化に加え、不二サッシマレーシア社の事業縮小などにより、前年同期比91.1%、21億8百万円の減収となりました。
- 環境事業の売上高は、一部大型プラント物件で工事遅延が発生した影響があるものの薬剤販売等に注力し、前年同期比113.4%、5億4千1百万円の増収となりました。

セグメント別 営業利益

■ 営業利益増減分析(前年比)

【連結】 (百万円)

	営業利益		
	2014年度 実績	2015年度 実績	対前年比
建 材 事 業	3,654	4,075	111.5% 421
形材外販事業	253	△ 398	— △ 652
環 境 事 業	165	36	22.1% △ 128
そ の 他 事 業	140	139	99.2% △ 1
(消去又は全社)	(1,195)	(1,249)	(53)
合 計	3,018	2,603	86.3% △ 414



- 増益要因は、営業プロセスの徹底した効率化を推進するとともに、工事進捗管理に注力した結果、販売価格で+4.7億円、その他で+0.5億円となり、合計で5億2千万円の増加となりました。
- 減益要因は、固定費増でΔ1.6億円、アルミ地金など原材料価格の上昇でΔ1.2億円、形材外販事業の売上減少等でΔ6.5億円となり、合計で9億3千万円の減少となりました。
- 営業利益全体では、前年同期比86.3%、4億1千4百万円減益の26億3百万円となりました。

2015年度 決算財務状況

(百万円)

	2014年度	2015年度	前年比
現預金	15,382	13,314	△2,067
総資産	82,692	83,217	524
利益剰余金	11,979	10,255	△1,723
純資産	15,527	12,449	△3,077
自己資本	15,375	12,305	△3,070
有利子負債	23,206	21,955	△1,251
自己資本比率(%)	18.6	14.8	△3.8
1株あたり純資産(円)	98.1	97.5	△0.6
ROE(%)	9.6	9.2	△0.4
EPS(円)	10.2	10.1	△0.1
配当(円)	0	1	1.0

※株式数 126,267千株

- 6期連続利益を計上するとともに、財務上の優先課題でありました優先株30億円の処理を行ったことにより、収益力・財務体質の改善が進みましたので、18年ぶりに配当を実施する予定です。

II. 2016年度(平成29年3月期)の業績予想

2016年度 連結通期業績予想について

【連結】

(百万円)

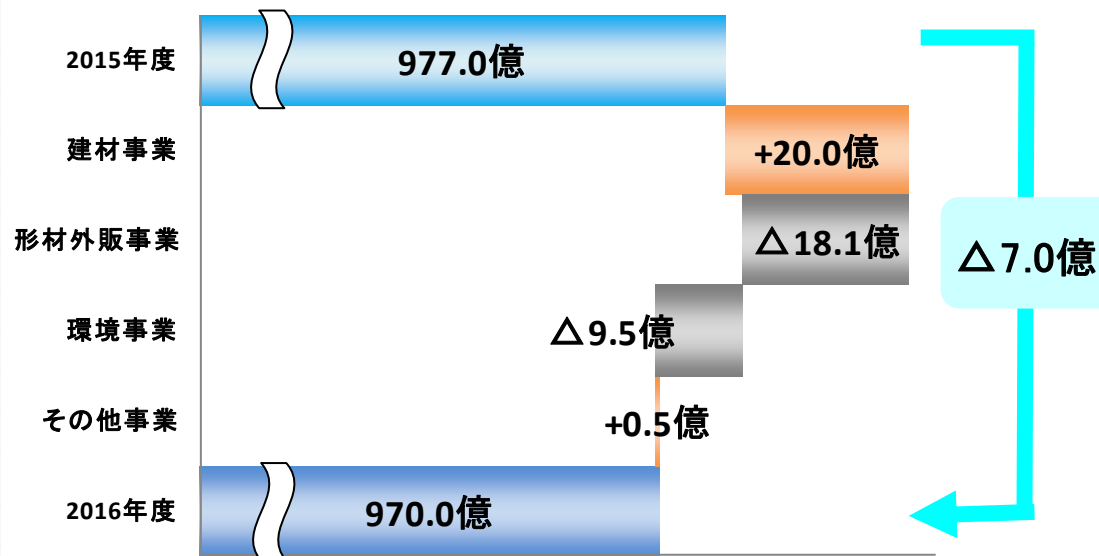
	2015年度		2016年度			
	実績	売上比	予想	売上比	前年比	
					増減額	%
売上高	97,704		97,000	100.0	△704	99.3
営業利益	2,603	2.7	2,600	2.7	△3	99.9
経常利益	2,233	2.3	2,400	2.5	167	107.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,276	1.3	1,400	1.4	124	109.7

2016年度 連結通期業績予想 - 売上高

【連結】 (百万円)

	売上高		
	2015年度	2016年度	
	通期実績	通期予測	対前年比
建 材 事 業	69,800	71,800	102.9% 2,000
形材外販事業	21,505	19,700	91.6% △ 1,805
環 境 事 業	4,579	3,630	79.3% △ 949
そ の 他 事 業	1,818	1,870	102.9% 52
(消去又は全社)	-	-	-
合 計	97,704	97,000	99.3% △ 704

■ 売上高予想増減分析(前年比)



- 建材事業は、公共事業など建設投資の前年割れが予想されるものの、東京オリンピック・パラリンピック等の潜在需要もあることから、リニューアル事業の強化およびビルサッシ事業の受注獲得に引き続き注力することで、前年同期比102.9%、20億円の増収を見込んでいます。
- 形材外販事業は、厳しい事業環境が続くなか、競争力を高め拡販により物量確保を図るものの、アルミ地金価格の変動により前年同期比91.6%、18億5百万円減収と見込んでいます。
- 環境事業は、競争激化などから利益確保の営業活動を重視し、前年同期比79.3%、9億4千9百万円の減収と見込んでいます。

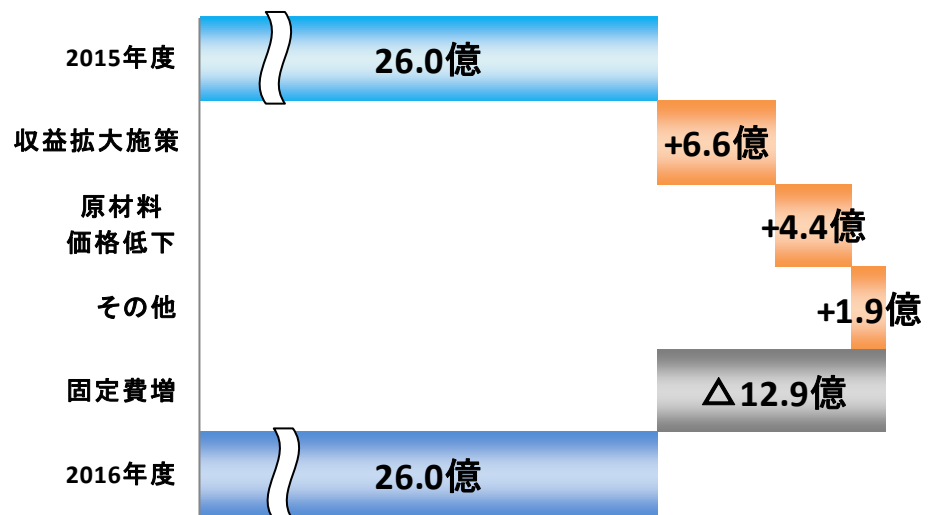
2016年度 連結通期業績予想 – 営業利益

【連結】

(百万円)

■ 営業利益予想増減分析(前年比)

	営業利益		
	2015年度 通期実績	2016年度 通期予測	対前年比
建 材 事 業	4,075	3,630	89.1% △ 445
形材外販事業	△ 398	100	— 498
環 境 事 業	36	120	333.3% 84
そ の 他 事 業	139	100	71.9% △ 39
(消去又は全社)	(1,249)	(1,350)	(101)
合 計	2,603	2,600	99.9% △ 3



- 営業利益は、営業プロセスの徹底した効率化を推進し、利益確保の営業活動に注力することや中期経営計画『躍進』の収益拡大施策の効果を見込んでいますが、事業強靱化のための設備投資増にともなう固定費上昇などのコスト増加により、前年並みの26億円を見込んでいます。

III. 中期経営計画「躍進」(2014-2016年度)

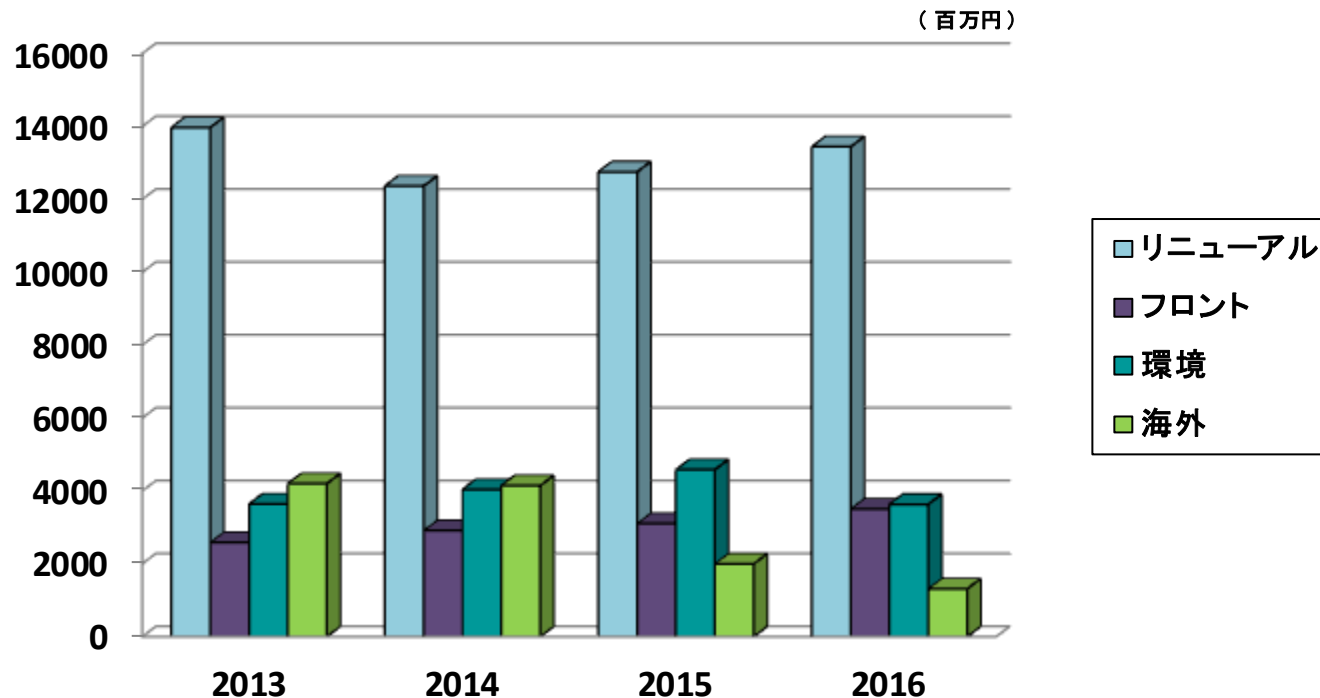
中期経営計画『躍進』実績・計画数値

(百万円)

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 予想値	中期計画 2016年度 計画値
売上高	99,020	97,704	97,000	105,000
営業利益	3,018	2,603	2,600	4,200
営業利益率	3.0%	2.7%	2.7%	4.0%
純資産	15,527	12,449	14,000以上	18,000以上
有利子負債	23,206	21,955	22,800	22,000以下

- 現中期経営計画「躍進」での2016年度計画値に対し、2016年度予想値は上記のとおりです。
- 売上高・利益面の計画値と予想値の乖離については、海外事業における不二サッシマレーシア社の縮小等による成長事業の伸び悩みによる影響が大きく、今後はコアである国内ビル新築事業の強化により収益の確保を図ります。
- 財務面では、重要な課題であった優先株式30億円の処理を自己償還で行ったため、純資産を減少させることとなりました。有利子負債は計画どおり減少させてまいりましたが、2016年度は設備投資に係る資金需要を保守的に見込んでいます。
- また、2020年度までの次期中期経営計画「創造」につきましては、2016年度中に公表する予定です。

中期経営計画／成長分野の強化



- 市場機会が見込める分野の事業モデルを充実させ、成長分野の売上拡大を図っておりますが、不二サッシマレーシア社の事業縮小の影響により、海外事業は大幅な売上減少となりました。
- 2016年度は、コア事業である建材事業への注力とともに、成長分野についても強化を図ってまいります。

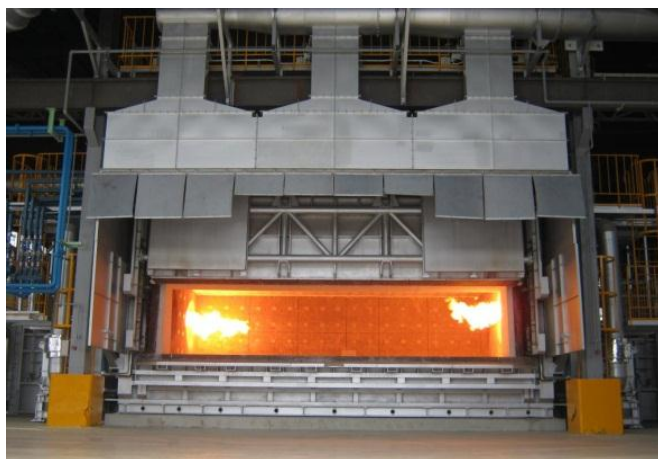
IV. トピックス

不二サッシグループ千葉事業所

新溶解・鋳造設備設置

2016年3月30日

- 不二サッシグループ千葉事業所（千葉県市原市）おきまして、アルミニウム鋳造工場の新溶解・鋳造設備の第1期工事が完了し、稼動を開始いたしました。
- 今般の工事は単なる設備の更新ではなく、インシヤルコスト・ランニングコストの削減による効率化を図るとともに、省エネおよびCO2排出量削減による環境負荷の低減に努めたものです。
- 今後、より安定した高品質の製品をお客様にお届けするとともに、高効率な稼動により、業績の向上につなげてまいります。
- なお、2016年9月に第2期工事（付帯設備）の完成を予定しております。



新溶解炉

【設備概要】

- ・ 所在地：千葉県市原市八幡海岸通13
不二ライトメタル株式会社
- ・ 工場建屋面積：2,477m²
- ・ 着工：2015年7月
- ・ 稼動：2016年3月
- ・ 投資額：約21億円
- ・ 設備能力：2,500t/月

■ 環境負荷低減

- ・ 溶解炉の燃料を都市ガスへ変更
- ・ 溶解炉に省エネバーナーを採用
 - 燃料削減効果 33.6% 削減
 - CO2排出量 1,574t/年
(50.4%) 削減
 - 硫黄分の排出 ゼロ

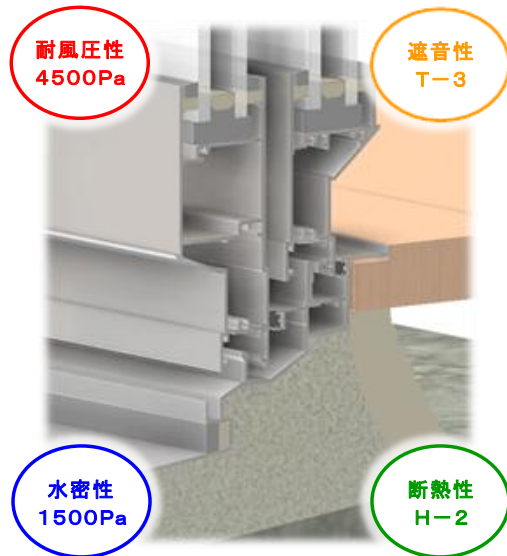
■ 効率化

- ・ 溶解炉の材料投入口の幅を拡張
長尺リサイクル材の切断/プレス工程削減
- ・ 鋳造機の増設
操業度に合わせた効率的な稼動

「FNS-Ⅱ70」次世代型ハイグレードサッシを新発売

2016年4月11日

- 不二サッシ株式会社は、このたび次世代型ハイグレード商品の新シリーズ「FNS-Ⅱ70」に枠見込み70mmの引違いサッシを発売いたしました。
- FNS-Ⅱ70は、近年多発する強風雨に対応する水密性能、高層マンションに求められる耐風圧性能を実現し、さらに、開口形式の異なる枠見込み70mmサッシ「Super70AT」等と組み合わせることで、多様化する高層マンション市場の開口部性能に高いレベルで適合します。



■商品特徴

- ・ 作動性と両立した安全性
- ・ 高層マンションで求められる耐水圧性、水密性に加え断熱性・遮音性を発揮する基本性能
- ・ 軽いクレセント操作で高い遮音性能を実現する操作性
- ・ 召し合せ見付寸法40mm、最大H寸法2400mmの意匠性

■ラインアップ

- ・ 開口ラインアップ：引き違い窓
- ・ 枠バリエーション：RC、ALC、面付

■性能仕様（各最高性能を記載）

- ・ 耐風圧性：4500Pa
- ・ 気密性：A-4<2等級線>
- ・ 水密性：中央値1500Pa
- ・ 遮音性：T-3<35等級線>（防音合わせ複層ガラス）
- ・ 断熱性：H-2<標準化熱貫流率
4.07W/(m²・K)>
(空気層12mm複層ガラス)
- ・ ガラス溝幅：36mm

■販売開始 2016年4月

■販売目標 1億円/年

山口不二サッシ 工場増設工事開始

2016年2月2日

- 山口不二サッシ株式会社（山口県山口市）は6月初旬の完成に向け、第2工場の増設工事を開始いたしました。
- 第2工場は現工場に隣接し、建物は鉄骨造2階建てで延床面積は2029㎡となり、製造部事務所は1階に管理部事務所及び不二サッシ株式会社山口営業所を2階に移動・集約する事で合理的な活動可能な環境を作ります。

沖縄不二サッシ 工場新築工事開始

2016年3月18日

- 株式会社沖縄不二サッシ（沖縄県中頭郡）は創立45周年となる本年、工場の新築工事を開始いたしました。
- 新工場はうるま市の中城湾新港工業団地に立地し、9月初旬の完成後に同社は全面移転を行い、敷地面積は5600㎡、建物は鉄骨造延床面積約2000㎡と現在の倍近くとなり、生産ライン・倉庫・入出荷ヤード・事務所を集約し、製販一体の会社として効率的な活動が可能な環境となります。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ